

# DX推進の取組み



OKINAWA KEISOKU

株式会社 沖縄計測

DX TEAM

2023年9月11日 承認

# デジタル技術が与える環境変化

近年、デジタル技術が目覚ましく成長している中、新型コロナウイルス感染拡大を発端に、コミュニケーションの在り方や働き方、生活スタイルが大きく変化し企業や組織は、変化にスピーディーに対応しなければ存続が難しい状況になっております。逆に捉えると、従来の業務の中に上手くデジタル技術を取り入れ効率を上げることができた企業は、様々な課題を解消しドメインを拡大する機会が得られると考えます。また、国内だけの生業だけでなく世界との競争優位性を図ることができる時代が到来したと考え、そこで得た技術力や効率化は社会に貢献するものだと考えます。

# DXを推進する経営ビジョン

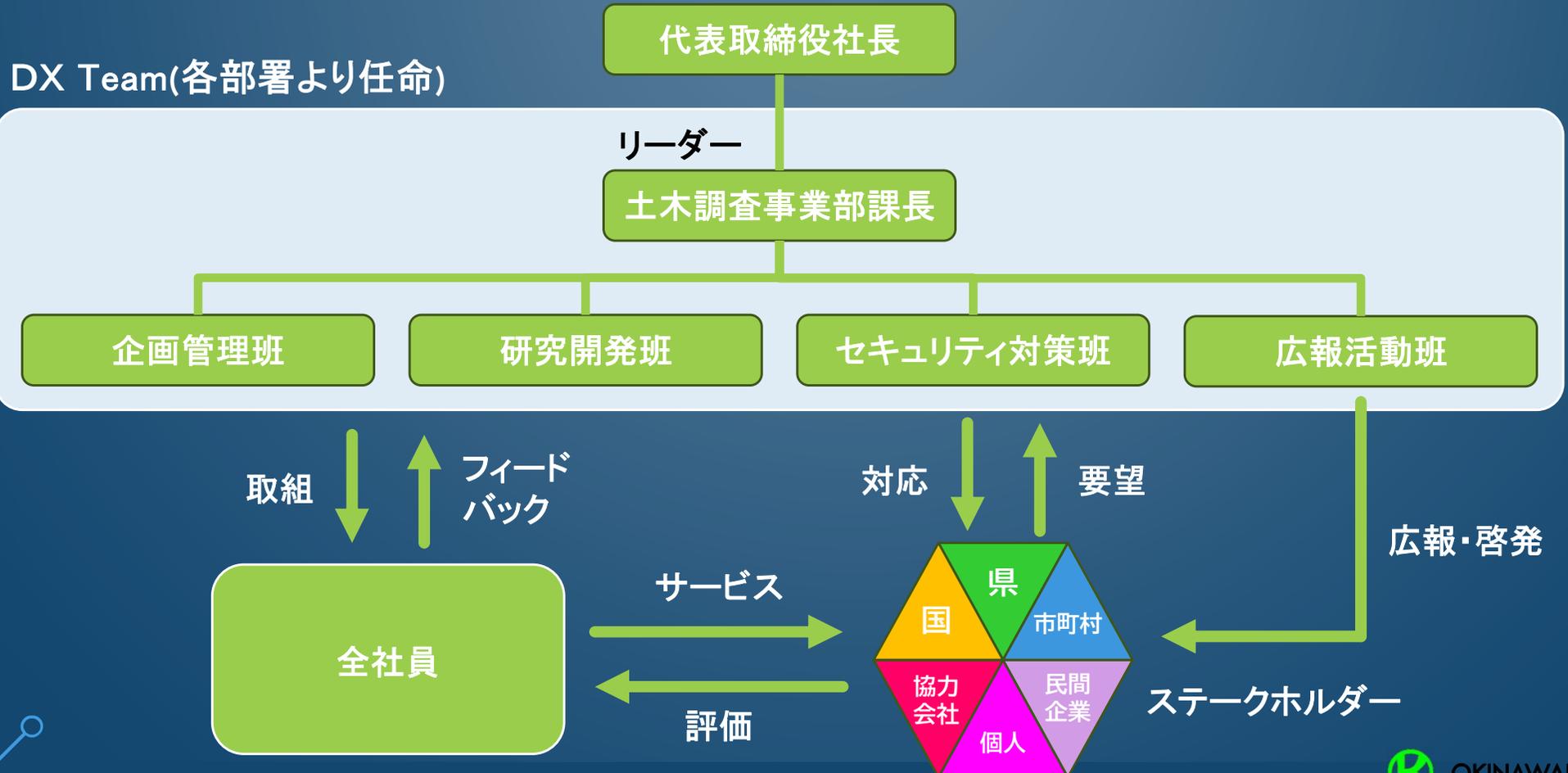
## 素晴らしい「地球」と快適な「環境づくり」

企業は社会の一機関であることを念頭に置き、社会に貢献できる企業として事業展開を図ります。また、社員満足度の高さが業務品質の向上、延いては顧客満足度の向上に繋がると考え、社員の働きやすい環境づくりを通じた改革に努めています。今後も、持続可能な社会を形成する上で不可欠な環境事業であることを誇りとし、新たな技術開発への挑戦と継続的に改善していく姿勢を常に忘れず、「デジタル技術を活用した新しい働き方や価値の創造」を原動力に、DXを推進することで、既存ビジネスをより進化・革新し、顧客満足・社会貢献へと繋がるよう成長し続ける企業を目指して参ります。



# DX推進体制図

## ①戦略を効果的に進めるための体制について



# ～戦略～ (ステークホルダーへの取り組み)

## デジタルシフトによる品質向上

### ◆顧客満足度No.1へ！



磁気探査システム(J-sok)

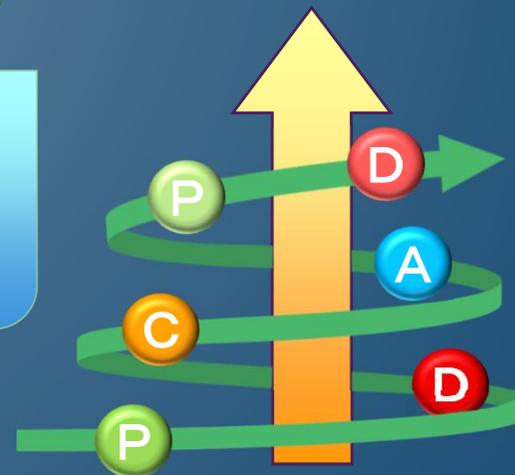
- AI分析技術開発(J-sok)
- 高精度・高品質な成果品をよりスピーディーに
- BIM/CIMとの融合により「見える化」
- 機器販売による業界技術力の底上げ
- アップデートによる新技術への対応

# ～戦略～ (社内外への取り組み)

## デジタルシフトによる品質向上

### ◆ 成果品の品質確保

- ・ 成果品のチェック  
(ビフォアアフター)



納品前に自社内で  
成果報告のプレゼンを実施。

良い点・悪い点をフィードバックし、  
より良い成果品につなげています。

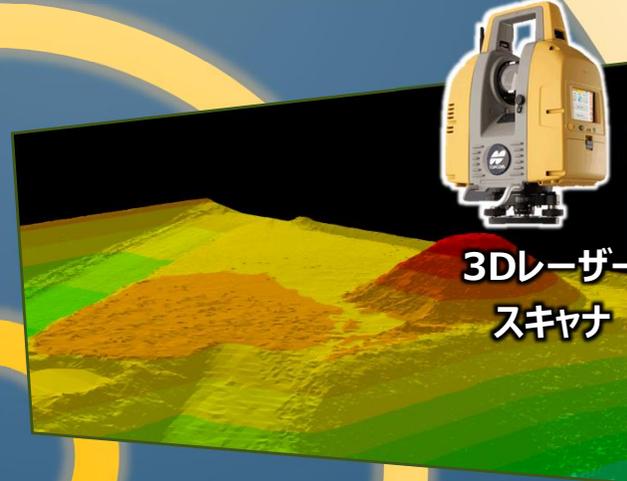
# ～戦略～ (社内外への取り組み)



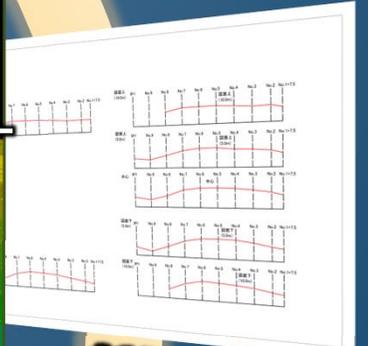
測量用ドローン



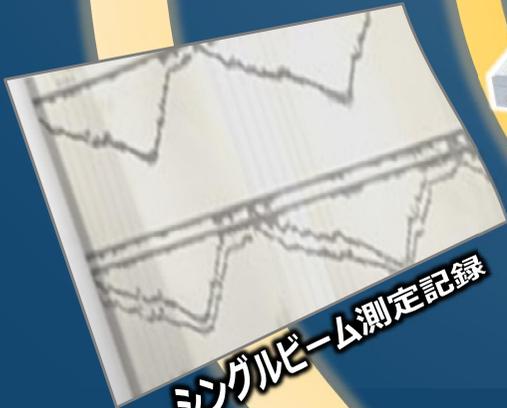
現況平面図



3Dレーザー  
スキャナ



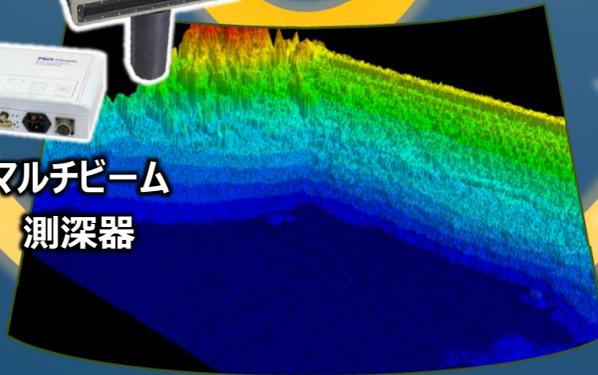
横断面図



シングルビーム測定記録



マルチビーム  
測深器



*DX Promotion System*

# ～戦略～ (ステークホルダーへの取り組み)

## デジタルシフトによる品質向上

### ◆アフターフォローの充実



### ハード面

- 販売した機器の保守管理
- トラブル時の迅速な初動

### ソフト面

- 磁気探査講習会の計画・実施
- 機器購入者への情報提供



# ～戦略～ (職場での取り組み)

## デジタルシフトによる働きがいのある職場づくり

### ◆ 職場環境整備 (土木調査事業部)

ITツール(ハード)を導入



### ◆ ソフト面の内製化

- 自社開発
- アプリの構築
- 業務フローの見直し
- 社内研修・人材育成

※必要であれば、外部へ依頼  
(アウトソーシング)

# ～戦略～ (職場での取り組み)

## ◆ 職場環境整備

定例ミーティングの様子



WEB会議の様子



タスク名	開始日時	終了日時	進捗状況
10-27-1 設備点検	10/27	10/27	完了
10-27-2 設備点検	10/27	10/27	完了
10-28-1 設備点検	10/28	10/28	完了
10-28-2 設備点検	10/28	10/28	完了
10-29-1 設備点検	10/29	10/29	完了
10-29-2 設備点検	10/29	10/29	完了
10-30-1 設備点検	10/30	10/30	完了
10-30-2 設備点検	10/30	10/30	完了
10-31-1 設備点検	10/31	10/31	完了
10-31-2 設備点検	10/31	10/31	完了
11-1-1 設備点検	11/1	11/1	完了
11-1-2 設備点検	11/1	11/1	完了
11-2-1 設備点検	11/2	11/2	完了
11-2-2 設備点検	11/2	11/2	完了
11-3-1 設備点検	11/3	11/3	完了
11-3-2 設備点検	11/3	11/3	完了
11-4-1 設備点検	11/4	11/4	完了
11-4-2 設備点検	11/4	11/4	完了
11-5-1 設備点検	11/5	11/5	完了
11-5-2 設備点検	11/5	11/5	完了
11-6-1 設備点検	11/6	11/6	完了
11-6-2 設備点検	11/6	11/6	完了
11-7-1 設備点検	11/7	11/7	完了
11-7-2 設備点検	11/7	11/7	完了
11-8-1 設備点検	11/8	11/8	完了
11-8-2 設備点検	11/8	11/8	完了
11-9-1 設備点検	11/9	11/9	完了
11-9-2 設備点検	11/9	11/9	完了
11-10-1 設備点検	11/10	11/10	完了
11-10-2 設備点検	11/10	11/10	完了

工程管理の活用

日	タスク	時間
10/27	設備点検	10:00-12:00
10/28	設備点検	10:00-12:00
10/29	設備点検	10:00-12:00
10/30	設備点検	10:00-12:00
10/31	設備点検	10:00-12:00
11/1	設備点検	10:00-12:00
11/2	設備点検	10:00-12:00
11/3	設備点検	10:00-12:00
11/4	設備点検	10:00-12:00
11/5	設備点検	10:00-12:00
11/6	設備点検	10:00-12:00
11/7	設備点検	10:00-12:00
11/8	設備点検	10:00-12:00
11/9	設備点検	10:00-12:00
11/10	設備点検	10:00-12:00

スケジュールの活用



掲示板の未確認防止の活用とコメント欄を活用



# ～戦略～ (職場での取り組み)

## デジタルシフトによる働きがいのある職場づくり

### ◆ 職場環境整備 (リサイクル事業部)

#### ハード面

- ・ 高精度な異物除去装置導入による 選別要員数の最少化並びに作業効率アップ
- ・ 製品品質向上



稼働計画 R5・6月

勤務日	勤務時間	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入
31 水											
1 木	8:00-21:00	13:00	8:00	18:00	7:30	18:00	8:00	7:30	8:00	7:30	8:00
2 金	8:00-21:00	13:00	8:00	18:00	7:30	18:00	8:00	7:30	8:00	7:30	8:00
3 土											
4 日											
5 月	8:00-21:00	13:00	8:00	7:30	18:00	7:30	18:00	8:00	7:30	8:00	7:30
6 火	8:00-21:00	13:00	8:00	7:30	18:00	7:30	18:00	8:00	7:30	8:00	7:30



スタッフ管理 シフト管理

シフト提出

令和5年 4月 1日～令和5年 4月30日

	4/2(日)	4/3(月)	4/3(火)	4/3(水)	4/3(木)
管理者01	8:30-13:00	8:30-13:00	8:30-13:00	8:30-13:00	8:30-13:00
メンバー1	8:30-13:00	8:30-13:00	8:30-13:00	8:30-13:00	8:30-13:00
メンバー3	8:30-13:00	8:30-13:00	8:30-13:00	8:30-13:00	8:30-13:00
メンバー4	8:30-13:00	8:30-13:00	8:30-13:00	8:30-13:00	8:30-13:00
メンバー5	8:30-13:00	8:30-13:00	8:30-13:00	8:30-13:00	8:30-13:00

#### シフト表イメージ

#### ソフト面

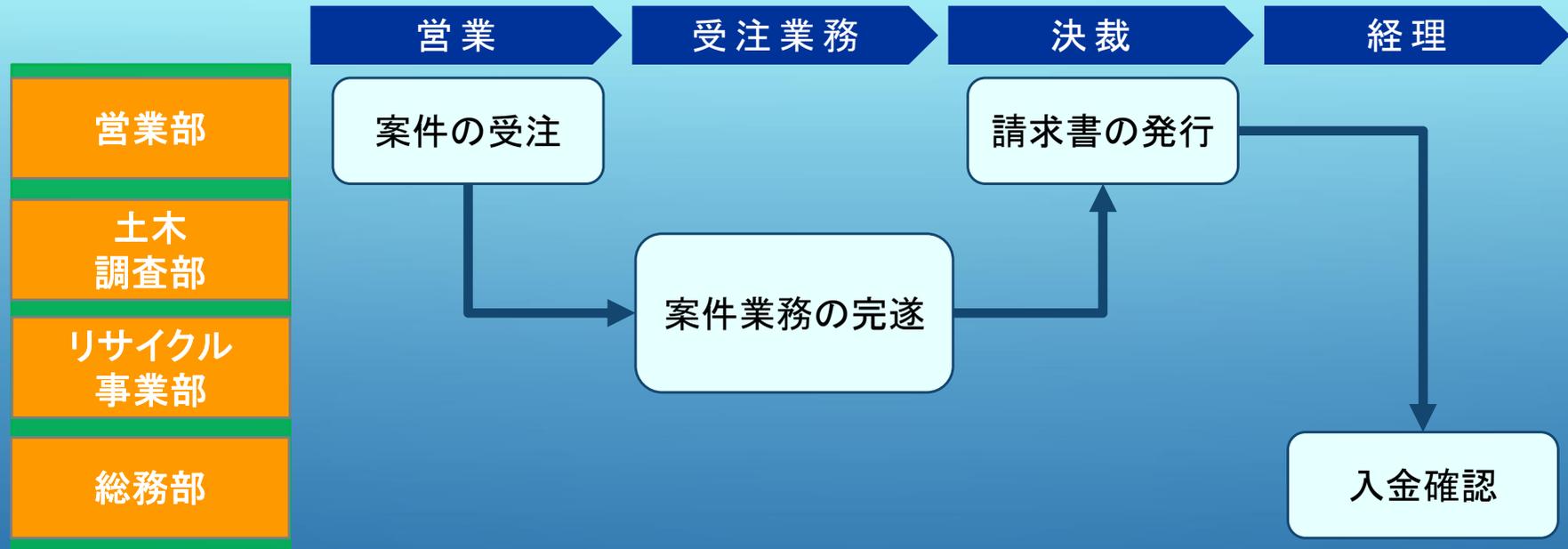
- ・ シフト管理のクラウド化に人員配置の効率化及びペーパーレス化

# ～戦略～ (職場での取り組み)

デジタルシフトによる働きがいのある職場づくり

## ◆ デジタル技術の活用と進化

### 全社員で共有



# 環境整備の具体的方策

## 従来の方法

①現場にて調査  
記録紙にデータを出力



②解析業務  
記録紙から手作業で解析



③確認探査  
異常点の確認。



④報告書の作成  
事務所に戻って報告書の作成



⑤成果品  
紙媒体での提出



## 新しい方法



①現場にて調査  
PCでデジタルデータを取得



②解析業務・確認探査  
現場と事務所との業務連携



③成果品  
電子記録媒体での提出

時間短縮によってできること

研究開発



OJT

レクリエーション



# DX推進達成状況の指標

戦略の概要	具体的な戦術	2025年までの目標とする指標
顧客満足度の向上	<p>営業活動の向上(品質向上)</p> <p>【土木調査事業部】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・現場立会・打合せなどのリモート化</li><li>・成果品作成ソフトの開発</li><li>・磁気探査機器の品質改善</li><li>・受注案件データの分析用システムの構築</li></ul> <p>【リサイクル事業部】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・高性能機器導入により異物除去強化による品質向上（8ページ参照）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・リモート会議を提案し実施する</li><li>・報告書をデジタルデータのみで提出</li><li>・学習会の現地・リモート併用開催</li><li>・利益の向上</li><li>・県外・海外へ事業展開(市場の拡大)</li><li>・磁気探査システム(J-sok)の販売促進</li><li>・品質向上による単価アップ</li></ul>
	<p>お客様のアフターフォロー対応の充実</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・問い合わせ窓口専用プラットフォーム構築(講習会などご案内・機器の保守管理など)</li></ul>	

# DX推進達成状況の指標

戦略の概要	具体的な戦術	2025年までの目標とする指標
<p><b>働きがいのある 職場環境づくり</b></p>	<p><b>デジタル技術の活用と進化</b></p> <p>【土木調査事業部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・磁気探査システムの新技術開発の推進</li> <li>・業務管理システムの導入と改善</li> <li>・勤怠・給与・会計クラウドを導入</li> <li>・スマートフォンを導入し迅速な連携・BCPの強化</li> <li>・ICT、BIM/CIMの講習を外部から受講</li> </ul> <p>【リサイクル事業部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高性能機器導入による作業効率化(8ページ参照)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・磁気探査システムのデファクトスタンダード</li> <li>・探査及び記録解析の半自動化</li> <li>・ICT、BIM/CIMへの対応可能な人材育成・確保</li> <li>・賃金の向上</li> <li>・時間外労働ゼロ</li> <li>・年次有給休暇取得の徹底(付与分の50%以上)</li> </ul>
	<p><b>働きやすい職場環境の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務フローの明確化(様式・マニュアルの整備)</li> <li>・オンライン活用での社員教育</li> <li>・ITに強い人材育成と確保</li> <li>・「DX意見箱」の活用</li> </ul>	

# サイバーセキュリティに関する対策

SECURITY ACTION制度に基づき、二つ星の自己宣言を行っております。  
また、当社の定める情報セキュリティ基本方針に則り、下記の取り組みを行っています。

- \* 外部サービスを用いた、電子メールによる外部からの攻撃に対する訓練を実施し、結果を全社員へフィードバックしヒューマンエラーによるリスク軽減を図ります  
(年2回以上不定期に実施)
- \* 保有データのクラウド化によるセキュリティの強化では既存のパソコンやソフトの更新は常に最新の状態を維持し情報セキュリティのために必要とされる知識等の共有のため、定期的に社員研修を実施します



# DX推進～情報発信～

デジタルの技術革新によって急激に変化する時代の中、私たちを取り巻く環境も大きく変化しています。携帯端末はスマホへと代わり、その機能を生かした様々なサービスで活用されています。タッチ決済など各分野での恩恵を受けると、DXの凄さと同時に効率の良さを実感します。

弊社も磁気探査事業における機器の開発には、不発弾探査に関わる時代のニーズとPCやバッテリー、通信方式などの技術進歩の恩恵を得て、最前線で活躍できる機器を開発してきました。

現在では、現場で取得したデータをクラウドストレージで本社とデータ共有ができるようになり、現場と事務所の連携によって、通常業務のみならず離島等の遠隔地でも人的負担の軽減や経費の圧縮が実現できました。

さらに業務管理システムを導入したことで、全社員の情報共有が可能となり、効率的な現場管理を行っております。他の業務管理においても、デジタルシフトの推進と、それに伴う情報管理の徹底で、企業力を上げ、効率化を図ります。

これらのDX取組の推進状況をHPやエコアクション21等を活用し広く公表していきます。

我が国では超高齢化を一因とする人手不足が、多くの産業で深刻な問題となっています。人材の育成や採用、今後の働き方においてもDXの影響は大きく、持続可能性において変革は不可欠です。

変革による生産性の向上は、残業時間の削減や有給取得率アップに繋がります。それは社員にゆとりを与え、「働くことの誇り」や「やりがい」を生み出し、さらにその先は顧客満足度の向上、社会貢献へと繋がっていき、持続可能な社会形成の考え方を広く共有することで、成長し続ける企業を目指して参ります。

株式会社 沖縄計測  
代表取締役

玉城 幸人